育苗管理向上による、高品質米生産拡大を目指す

生産者自慢の苗が集結し、育苗技術を競い合う

▲播種日や栽培環境を踏まえて担当者が審査を行う

ＪＡ稲作部会（大塚公隆部会長）は５月14日、苗の生育確認と生産者の育苗管理向上を目的に、管内３地区合同の健苗コンクールを実施しました。

コンクールには合計１８０点の健苗が出品され、ＪＡ営農指導員や地域振興局農業振興普及課職員などが、根の張り具合や苗揃えなど審査しました。その結果、大塚英和さん（河戸川）の苗が最優秀賞に輝きました。優秀賞・優良賞は以下の通りです。

▽優秀賞＝安井鐘悦、平川雄己男、佐藤巧、石田敬一郎

▽優良賞＝山谷啓一、佐藤晴海、斉藤智光、小山ミヤ、菊池正

超神ネイガーによる交通安全教室を開催

ヒーロー達から、楽しく交通ルールを学ぶ

▲しっかり左右確認をして、横断歩道を渡りましょう

ＪＡ共済が主催する『超神ネイガー』の交通安全教室が、５月10日に轟保育園で開催され、園児達がヒーローから交通ルールを楽しく学びました。

交通教室では、①車道の近くで遊ばないこと。②車道を渡る際は横断歩道を利用すること。③渡る前に車が来ないか、必ず左右の確認をすることなどをネイガー達がショーを通して教えました。子どもの事故の半分以上は交通事故によるもので、主に飛び出しや車道での遊びが原因です。この時期は車の交通量も多くなりますので、歩行者もドライバーもより注意が必要です。

淳城南小学校による、農作業体験活動

児童たちが、楽しく田植えを体験

▲昔ながらの目印づくりも体験しました

淳城南小学校の５年生70名が、総合学習授業の一環として、ＪＡ青年部員の圃場で田植え体験を行いました。

淳城南小学校では、毎年農作物の栽培体験を実施しており、今年はお米づくりに挑戦。田植えは初めての児童がほとんどで、青年部員から植え方を教わりながら、ゆっくりと植えていきました。しかし途中からコツを掴んだのか、見違えるほど手際が良くなり、10ａの圃場が瞬く間に植えられていきました。体験した児童は「最初は不安だったけど、みんなと協力して、真剣に楽しく田植え出来ました！」と笑顔で話してくれました。